

日本介護福祉士会 千葉県支部会報 に じ	VOL . 6 1 2 0 0 6 3 . 3 1	発 行 日本介護福祉士会千葉県支部 千葉県介護福祉士会 会長 野口渉子 編 集 広報委員会・広報委員長 事務所 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター3階 TEL・FAX043-248-1451 TEL・FAX043-248-1515 mail kai5niji@poem.ocn.ne.jp
--------------------------------	---	---

介護保険法改正へ



平成18年度4月より、介護保険法が改正されます。17年度においても、介護保険施設における部屋代の見直しなど、細かな動きはありましたが、4月からは一つの大きな改正を迎えます。制度を理解するには、ご利用される方々もさることながら、携わる我々も時間がかかるものであり、大きな混乱を招きます。また、解釈通知などを見て納得することも多々ありますので、適切な理解とアドバイスができるように、日々情報収集していく必要があると思われまます。

サービスの利用は「申請」から

申請する 申請の窓口は各自治体の地域包括支援センター又は行政の相談窓口等
 要介護認定 申請をすると訪問調査や公平な審査・判定が行なわれ、介護や支援が必要な度合い（要介護度）が決まります。

訪問調査・主治医の意見書・一次判定・二次判定（認定審査）

結果の通知

< 認 定 >

要介護度 1～5 **介護給付サービス利用へ**

自分らしくできる限り自立した暮らしができるように・・・。

要支援1、2 **予防給付サービス利用へ**

今よりも状態が悪くならないように、また少しでも自分でできることが増えるようになるために・・・

非該当 **地域支援事業利用へ**

これからも元気で介護が必要とならないための様々なサービスを提供する事業。地域支援事業の介護予防サービスには、対象者ごとに一般高齢者向けのサービスと特定高齢者向けのサービスがあります。（サービス内容等は市町村によってこととなります）

介護予防事業に関しては、にじ60号にも掲載しております。

平成17年度 介護福祉士国試受験対策

受験対策担当 松下 やえ子

「後進の育成」の取り組みとして、千葉県介護福祉士会が平成 8 年から始めた受験対策も 10 年目を迎えました。「国が、介護は介護福祉士で！」という方針を打ち出したこともあって、このところ介護現場での資格取得への意識も変わって来つつあるように感じています。第 18 回の受験者数は約 14 万人と前年に比べ増加が著しかったため、本年度から介護技術講習会制度が導入されたにもかかわらず、二次の実技試験の受験者数は約 4 万 8 千人に昇ったそうです。当会の受験対策にも本年度、延べ人数で交流会 1 2 3 人、筆記模試 5 1 6 人、実技模試 1 5 4 人の参加がありました。会活動としても定着し、受講者数は年毎に増加し続けています。「念ずれば 花開く」を合言葉に会員スタッフの熱い想いが実を結び、今年も何人の介護福祉士が誕生するのでしょうか。一人でも多くのなかまが誕生することを願っております。少子高齢化が急ピッチで進行するなかで、介護に携わる人材の育成においては、員数の確保だけでなく質の確保も重要な課題であることは言うまでもありません。介護福祉士の生涯研修制度の検討も進められておりますが、同じ資格をもつ私たち介護福祉士の一人ひとりが職能団体の構成員として求め、企画し、参加して自己研鑽する中で介護福祉の専門性を追求していくことが介護者の質 = 介護の質につながっていくと信じています。合格したら、是非正会員になりましょう！

今年は、千葉県介護福祉士会から私を含めて 4 名が 3 月 5 日に行われた国試実技試験の実地試験員の機会を得ました。受験者の心臓の鼓動が伝わってきて、私たちも緊張して役割を務めさせていただきました。この経験を、これからの受験対策に活かしていきたいと思っています。最後になりましたが、ご多忙の中、ご協力いただいた会員スタッフの皆様に心から御礼申し上げます。

各ブロックにての開催報告

ブロック名	日付	人数	場所
千葉	2.25	74 名	千葉県社会福祉センター
東葛	2.18 2.19	16 名	松寿園
君津	2.19	28 名	君津八重原公民館
東部	2.18	13 名	横芝町健康福祉センタープラム
南部	2.25	22 名	白子町社会福祉協議会

介護技術講習会のご案内

介護福祉士国家試験の実技試験については、平成17年度から介護技術講習制度が導入され、同講習の修了認定者については実技試験の免除が受けられることとなりました。介護技術講習を修了した日以降に実際に介護福祉士国家試験（筆記）を受験したか否かにかかわらず引き続いて行われる次の3回の実技試験を免除するというものです。詳しくは（社）日本介護福祉士養成施設協会のホームページで・・・ <http://www.kaiyokyo.net/>

千葉県内では、講習会実施期日を見ると、早いところでは4月22日から始まり、3/29～4/6までの受講申込受付期間でハガキによるのですが、その後の受付は8/18までありますので、間に合うところもあるかと思しますので、応募したい方は上記で検索して下さい。東京、神奈川という方法もあるかと思しますので検討下さい。又、千葉県介護福祉士会としては引き続き、例年どおり、実技模擬試験も実施して、免除せずに実技試験に挑戦される方々をバックアップしていきますので、筆記模擬試験同様にご活用下さい。

はれときどきにじ



～介護保険改定について、今想うこと～

東葛ブロック 堀越悦雄

介護保険制度開始から早5年が経ち制度改定の年となった。要介護認定者が増大し介護保険制度という川の流れは激流に変わった。このままでは、川は氾濫し大きな危害が予想される。川の流れを緩やかにするために、『介護予防』と『介護給付』という支流を2本造り、『地域支援事業』というダムまで設置した。果たして川の流れは緩やかに流れるだろうか。現在、支流造りに携わっている現場の者は不安が先行している。うまく『介護予防』の支流に流れてくれるだろうか。今回の制度改革で求められるものは、「自立支援」と「目標指向型」の観点からのマネジメントの確立である。いわば、福祉職に就いている大きなテーマではないだろうか。利用者を中心にマネジメントを行い、ネットワークづくりの一端を支援していくことについては、介護支援専門員も介護福祉士も同じ土壌での支援である。介護保険制度改正も重要ではあるが、高齢者の虐待問題、支援費制度と介護保険の統合等これから、高齢者を取り巻く問題は多種多様化していくだろう。しかし、我々がしっかりと制度を認識しなければ、迷ってしまうのは高齢者である。激流に飲み混まれないよう、お互いネットワークを組んでいきましょう。

この人紹介

氏名 性別 年齢
 介護職歴年数 介護福祉
 士歴年数と資格取得方法
 勤務先 ブロック

福嶋 さん 女性
 60歳 訪問介護2年
 デイサービス7年 4年
 デイサービス勤務
 君津ブロック



私は医療とか介護の世界には全くと言って良いほど無縁でしたが、10数年前に父が癌で入院することから始まり、アルツハイマーの母も同じ病院から旅発っていきました。

その2年間は仕事も辞め、最後の親孝行のつもりで病院通いと家庭介護教室に通ったのですが、その事が縁で市の登録ヘルパーとなりました。

それまで自分と同じような環境、同じような趣味、同じような考え方を持った人達との関わりしかなかった私にはオーバーに言えば人生観が変わるほどの体験でした。

身体が不自由な為一步も家の外へ出る機会を与えられず、30年前から時代がとまっているような生活を垣間見ました。無いもの尽くしの生活だからこそ、そこには生きていくためのあらゆる工夫と無駄を省いた生活があり、他人と比べることも無く張り合うこともない素の人間の心が感じられた空間でした。

正直言って次の仕事が見つかるまでの腰掛程度に考えていたヘルパー職ですが、多くの人達との出会いから

生きて行く為の貴重な知恵を沢山頂きました。

両親との別れを機に自然と介護の世界に導かれ、デイサービスの仕事に就いたのですが、甘かった。

厳しい介護の現場において働き続ける為には知識も技術もない自分には挫折の連続で何か目標をもたなかったら続かなかったと思います。

パート職ではありますが、介護福祉士、介護支援専門員の受験を通して徐々に自分の仕事に誇りと楽しみを持てるようになり、さらに介護福祉士会に参加したことで同じような仲間と知り合い、共に勉強会を重ねることで仕事を続けて行く自信をつけさせてもらったと感謝しています。

そして、どんな場合でも相手の立場を理解し思いやれることが大事だと言うことを学びました。

若い頃の殆どを自営の手芸店で費やしてきた私が、全く考えてもみなかった介護の世界で、こんなにも長く関わってこられた事は不思議です。

きっとこの仕事で培った経験や人々との出会いが自分自身の人生の糧になっているからでしょう。

平成18年度 千葉県介護福祉士会 通常総会

平成18年4月23日(日)

千葉県社会福祉センター5F (受付9:00より)

- 9:30～11:00 総会
 11:00～12:15 講演「障害者自立支援法について」
 千葉県健康福祉部障害福祉課 課長 竹林 悟史 氏
 13:00～14:30 講演「介護職に求められる終末ケア」
 あおぞら診療所 理事長 和田 忠志 氏
 14:30～16:30 交流会

*昼食は、各自でご用意ください。

～みなさまのご出席をお待ちしております～



研 修 案 内

平成18年度 第1回 千葉県介護福祉士会研修会

テーマ「日本介護福祉士会方式」

～生活援助を基礎とした自立支援アセスメント・ケアプラン作成～

講 師 近藤けい子氏、松下やえ子氏、高橋仁美氏(各当会理事)

日 時 平成18年6月11日(日) 10時～16時(受付9時30分～)

会 場 千葉県社会福祉センター 5階

参加費 会員・準会員 500円 一般 3,000円

定 員 80名

申し込み 平成18年6月9日(金)までに当会事務所まで。

千葉ブロック研修会

テーマ「介護技術」(基礎編)

講 師 千葉ブロック実技講師陣

日 時 平成18年6月4日(日) 13時～17時(受付12時30分～)

会 場 千葉県社会福祉センター 5階 中研修室

参加費 会員・準会員 300円 一般 2,000円

定 員 40名

申し込み 当会事務所まで。定員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ 事務局 電話・FAX

043-248-1451

043-248-1515

日本介護福祉士会方式

生活援助を基礎とした自立支援アセスメント・ケアプラン

生活機能モデル (ICF) の考え方を加えて、方式の改定へ

平成 18 年 3 月 18 日・19 日、日本介護福祉士会関東甲信越ブロック現任研修が、山梨県介護福祉士会の当番にて介護支援専門員を対象として開催されました。千葉県からは理事の松下、高橋、近藤の 3 名が参加しました。内容について以下報告いたします。

「介護保険制度の改正～介護報酬・指定基準等の見直しについて～」日本介護介護支援専門員協会副会長・山梨県介護介護支援専門員連絡協議会会長の鷲見よしみ氏より「4 月施行に係る関係法令の概要」「介護支援専門員の資格・研修体系(案)」等の資料をもとに大変分かり易く解説いただきました。

居宅介護支援費の逡減制導入や初回加算、特定事業所加算の創設、特定事業所集中減算の創設など、益々質の向上にむけた見直しがなされました。

利用者一人ひとりの思いや生き方、習慣、環境を尊重した日本介護福祉士会方式改定版を、演習をしながら二日間にわたって研修しました。

ICF の考え方は日介版アセスメントの視点に非常に合致しており、介護保険施行 5 年を踏まえて、より一層の充実と使いやすさに重点をおいて、今回の改訂を行った旨説明がありました。

ICF の生活機能モデルは・・・

人が生活する上で有するすべての機能 = 「心身機能・身体構造」「活動」「参加」に「健康状態」や「環境因子」「個人因子」が相互に作用していると捉えます。

この人の生活や人生をよくする

人が「生きる」ことを「総合的にとらえること」「全人間的にとらえる」「プラス面からとらえる」・・・これが ICF の特徴です。

日本介護福祉士会方式改定版の改定点は・・・

全体状況アセスメント 1. 2 に補足事項として書き込んでいたアセスメント 3.4. 5.6 を盛り込みました。この 1. 2 で利用者の全体像をつかみます。

アセスメント 2 生活 7 領域からとらえた援助の必要性和ニーズ 1～7 は 7 領域 4 6 項目は従来どおりですが、「本人の望み・意欲・関心」をとらえた後、「生活機能向上の促進因子及び阻害因子」を明確化し、「解決すべき生活課題(ニーズ)」を導き出す手法に改定しました。各領域から抽出されたニーズを 6 つの視点に沿って統合していく過程を記載することで分かりやすくしています。これが「居宅サービス計画書(2)」に反映されます。ニーズを引き出す過程が目標設定などに生かされました。

尚、詳しくは 18 年度第 1 回千葉県介護福祉士会研修会にて伝達研修としてお伝えします。

認知症の人のためのケアマネジメント ～センター方式普及にむけて～

介護保険法改正に伴い地域包括支援センターの概要が見えてきました。

認知症とどう関わっていくのか？体制の中で今年度から実施される、かかりつけ医の認知症のサポート医研修が充実すれば認知症の早期発見と診断ができケアマネや認知症介護指導者、各サービス事業所と共にチームを組み、相談体制、家族支援の充実につながられ地域における総合的・継続的支援体制の生活圏域整備がされると言われております。地域で認知症をチームで支えるには共通のアセスメントと担当者会議が重要となります。センター方式は情報の共有ツールです。共通したシートで情報を共有することによって診療、相談場面では得られにくい日常の情報を家族、ケアマネージャー等から得ることができます。今年度からケアマネージャーの現任研修にも取り入れられるということで、かかりつけ医と共にチームで互いの情報をケアプランやケアにより有効に活かすことができ支援のパワーアップにつながります（H.18年2月17日 認知症介護研究・研修東京センターシンポジウム資料より）

今後のより良い認知症ケアに向けて千葉県介護福祉士会では研修を通じてセンター方式普及に努力いたします。

担当 村越 洋子

南部ブロックの取り組み

南部ブロック長 斉藤ひとみ

平成17年度の南部ブロックの研修会は、7人のブロック役員と共にブロック会員の興味をひく求められる研修を、と企画開催いたしました。第1回目は7月3日東間理事を迎えての介護技術研修です。“介護を忘れた介護福祉士”にならないようにと自らの介護技術を振り返る研修会です。東間理事の実体験をまじえた魅力的な話術にひきこまれながら和やかな雰囲気の中、真剣に学びあいました。南部ブロックでは介護福祉士として常に確かな介護技術を身につけていこうと介護技術研修を恒例研修にと考えています。第2回目は10月30日村越会員を講師に招いてのセンター方式認知症アセスメント研修会を開催しました。存在感のある村越会員の講義に少々緊張気味の参加者の様子が印象的でした。認知症の人に限らず、利用者さんに対する村越会員の熱い深い思いがひしひしと伝わる研修会でした。どんなすばらしいアセスメントツールがあってもそれを使う私達が真剣に利用者さんに向きあい、五感を研ぎ澄まし、その人の思いに気づける自分たちで無ければならぬことを学ばせて頂きました。

南部ブロックの研修会では共に昼食をとり、お昼の時間を利用し会員同士の親睦を深めています。1番小さなブロックですから、お互いの顔の見える活動をして行きたいと思っています。そしてこれからもブロック役員と共に魅力ある研修会を企画していきたいと考えています。

理事会報告

第10回理事会
平成18年2月11日(土)
参加者13名
第11回理事会
平成18年2月25日(土)
参加者12名

事務局だより

< 準会員みなさまへ >
合格の二文字をいただいた方は、正会員として登録していただきますのでよろしくお願いいたします。

< 正会員みなさまへ >
日本介護福祉士会の会員証が更新されますので、4月中に送付いたします。

《ホームページのご案内》
<http://www12.ocn.ne.jp/~kai5tiba/>
研修のお知らせや、みなさまからの声を募集しています。アクセスお待ちしております。



現在の会員数(3月22日現在)

会員数	809名
東葛	220名
千葉	305名
君津	105名
東部	118名
南部	61名
準会員	66名
賛助個人	2名
特別会員	2名

募集

「このひと紹介」「はれときどきにじ(コラム)」の原稿を随時募集しています。自薦、他薦なんでも結構。事務局メールにてご連絡、または直接原稿をお送りください。「このひと紹介」は、氏名・介護職歴等の自己紹介を記入いただきます。文字数は約800文字。「はれときどきにじ」は、氏名とブロック名の記入と、文字数は約400文字です。(広報委員会)

編集後記

介護保険制度の改正により、4月から介護予防サービスが始まりました。みなさんのまわりではどのような変化がありましたか?ぜひ、みなさんの『声』をお聞かせください。お便りは事務局まで、お待ちしております。(石井)